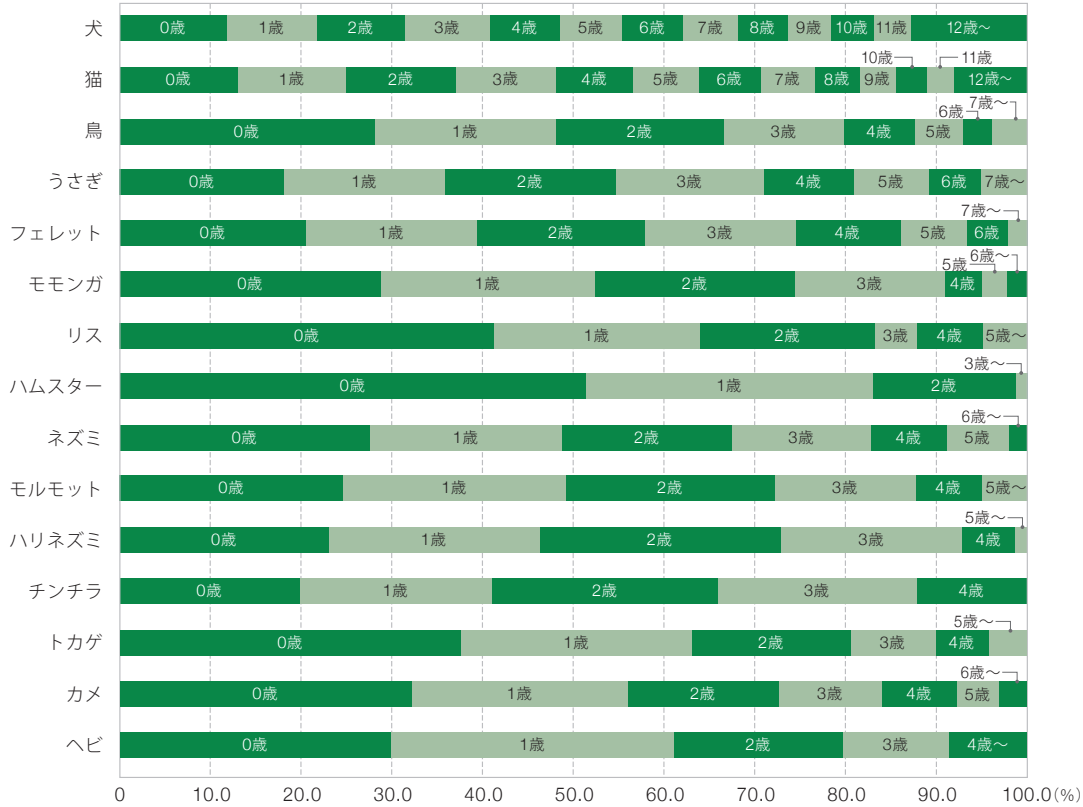




## 第2部

# どうぶつの疾患統計

2-0-1 アニコム損保の「どうぶつ健保」契約どうぶつの年齢構成



2-0-1

対象：2022年4月1日から2023年3月31日までの間にアニコム損保の保険契約を開始した犬815,779頭、猫274,324頭、鳥14,583羽、うさぎ32,899頭、フェレット8,163頭、モモンガ4,651頭、リス1,501頭、ハムスター14,986頭、ネズミ4,222頭、モルモット4,955頭、ハリネズミ3,405頭、チンチラ7,237頭、トカゲ2,358頭、カメ1,324頭、ヘビ221頭（全年齢、性別不明含む/契約の解除・取消を除く）。

## 2. Statistics on Household Animal Diseases

### [本書における請求割合について]

本書では、「請求割合＝保険金支払いのあったどうぶつの数／保険に契約しているどうぶつの数」と定義した。保険契約期間は1年間であるため、新規契約か継続契約であるかどうかにかかわらず、あくまで1年間のうちに1回でも保険金支払いがあった場合は1としてカウントしている。また、アニコムの「どうぶつ健保」に契約しているどうぶつには、新規契約時に年齢制限があること、ペットショップからどうぶつを迎える際に保険契約を検討するケースが多いことにより、若齢どうぶつが多い(2-0-1)。そのため全体の請求割合を算出する場合は、各年齢ごとの頭数が等しいと仮定し、それぞれの母集団が10,000頭になるように標準化したのちに請求があったどうぶつ数を算出し、請求割合(小数点2位で四捨五入)としている。

請求割合の算出においては、契約満了または死亡解約となった各個体の1年ごとの契約について、その契約が開始した年齢ごとに1契約＝1頭とみなしている。請求割合でとくに記載のないものは、犬・猫は0～12歳の、鳥・うさぎ・フェレットは0～6歳の、それ以外は全年齢の平均とした。性別については基本的に性別不明を除いているが、第1章の犬・猫・うさぎ・フェレット以外のどうぶつ種、第3章の鳥、第4章の全どうぶつ種は性別不明を含めて算出している。

### [傷病名分類について]

2018年度より、傷病名の分類方法を変更している。原則、解剖学的な器官をもとに分類したため、従来の「腫瘍疾患」は、発生部位によって個々の大分類にふり分けられる。このため、本書における「腫瘍疾患」とは、各大分類の中から腫瘍に該当する小分類(傷病名)を抽出してまとめたものを指す。また本年度より、エキゾチックアニマルの契約頭数の増加に伴い、「エキゾチックアニマル特有の疾患」を分類上追加した。そのため昨年度までの集計とは、一部傾向が異なる可能性がある。詳細な傷病名一覧については82～83ページに掲載した。

### [オッズ比、罹りやすい疾患・罹りにくい疾患について]

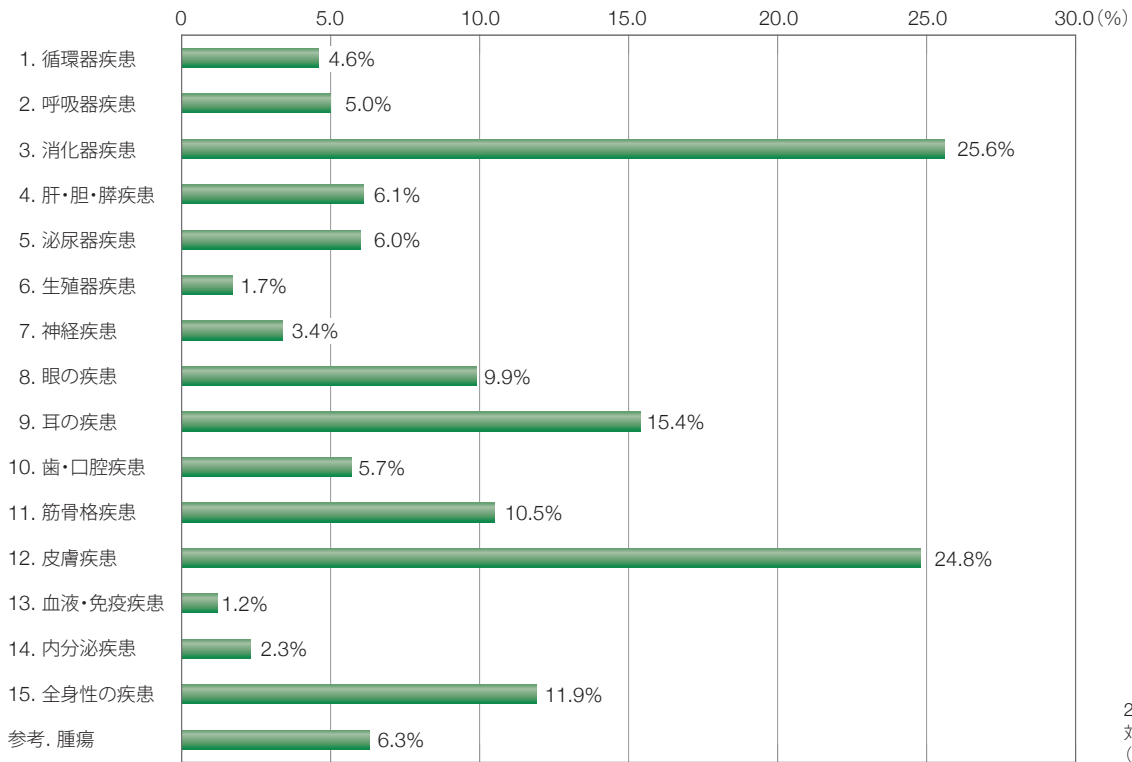
品種別の請求割合が0.5%以上の疾患を対象に、請求頭数＝罹患頭数と仮定しオッズ比を算出した。罹りやすい疾患は、95%信頼区間の下限が1以上の疾患を抽出し、オッズ比を降順に並び替え最大上位15位までを示した。罹りにくい疾患は、95%信頼区間の上限が1以下の疾患を抽出し、オッズ比を昇順に並び替え最大上位5位までを示した。

### [年間診療費(平均値・中央値)について]

一度の請求において複数の傷病に対する請求が行われていた場合、その請求は年間診療費(平均値・中央値)の集計対象からは除外するものとして(ただし集計対象から除外したことで請求頭数が0頭になった場合には、集計対象に含めるものとして)算出した。

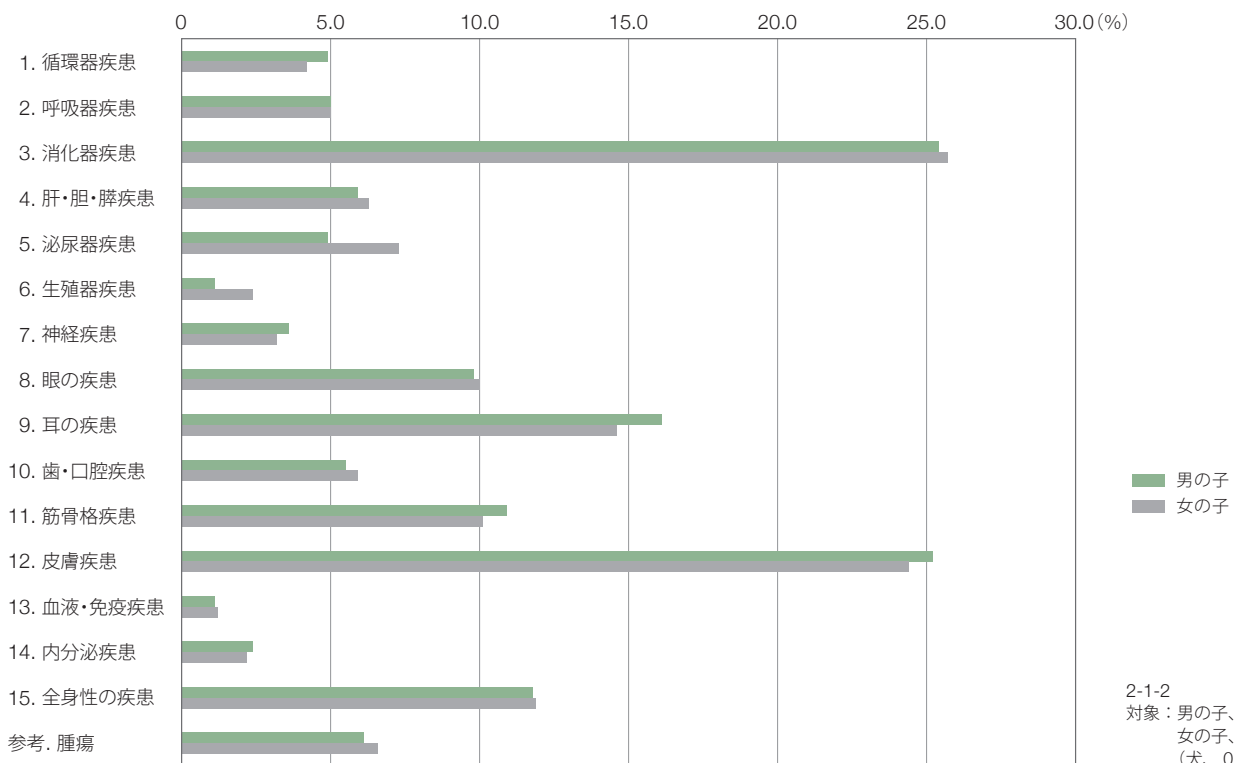
# 1. 犬

## 2-1-1 犬の疾患（大分類単位）の請求割合



2-1-1  
対象：741,919頭  
(犬、0～12歳)

## 2-1-2 犬の請求割合の男女比較

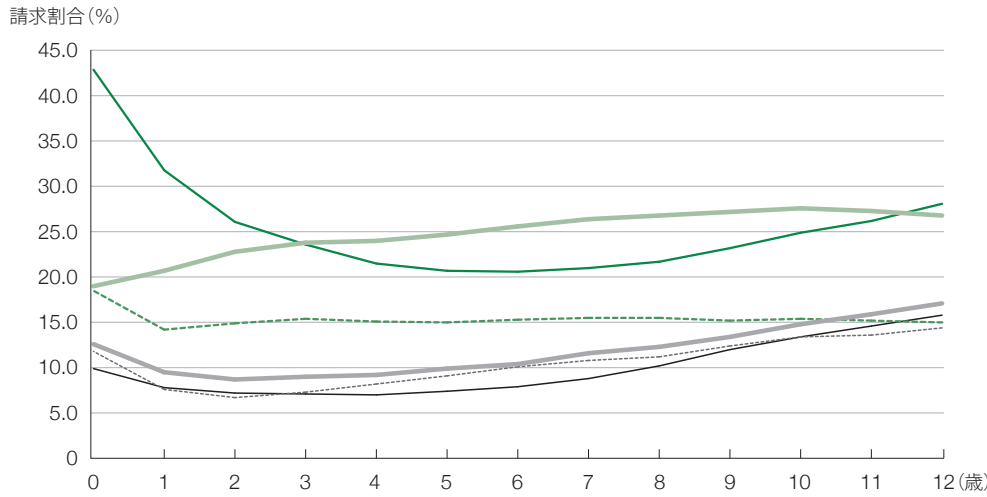


2-1-2  
対象：男子、392,476頭  
女子、349,443頭  
(犬、0～12歳)



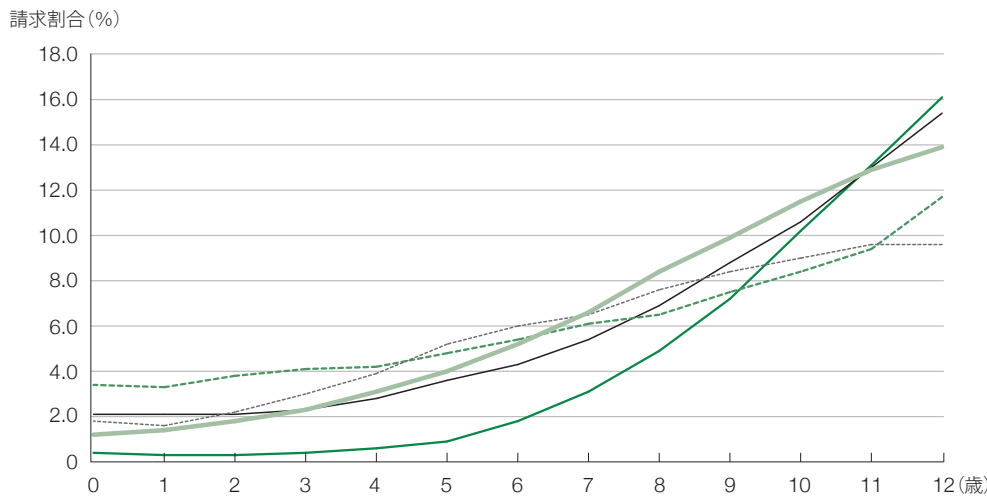
第2部 第1章 疾患（大分類単位）別の統計

2-1-3 犬の請求割合の年齢推移①



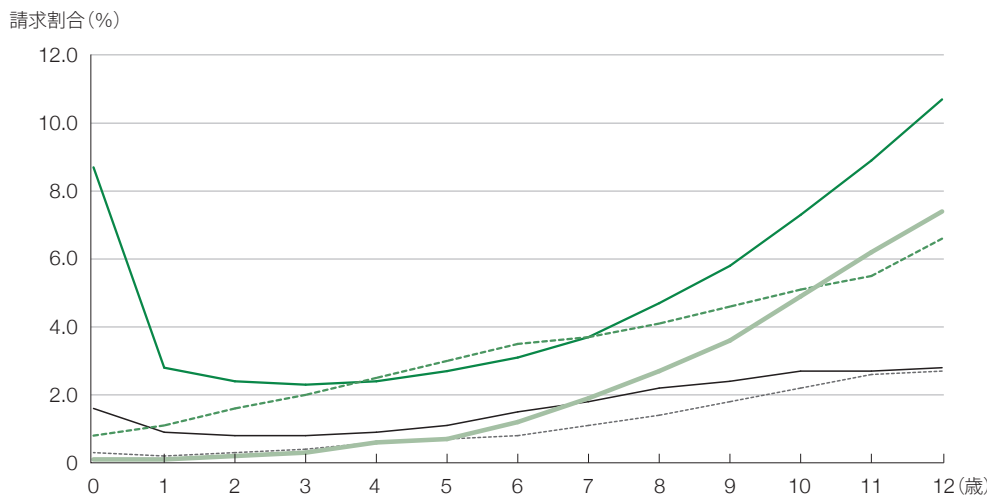
- 3. 消化器疾患
- 8. 眼の疾患
- - - 9. 耳の疾患
- ..... 11. 筋骨格疾患
- 12. 皮膚疾患
- 15. 全身性の疾患

2-1-4 犬の請求割合の年齢推移②



- 1. 循環器疾患
- 4. 肝・胆・膵疾患
- - - 5. 泌尿器疾患
- ..... 10. 歯・口腔疾患
- 参考: 腫瘍

2-1-5 犬の請求割合の年齢推移③

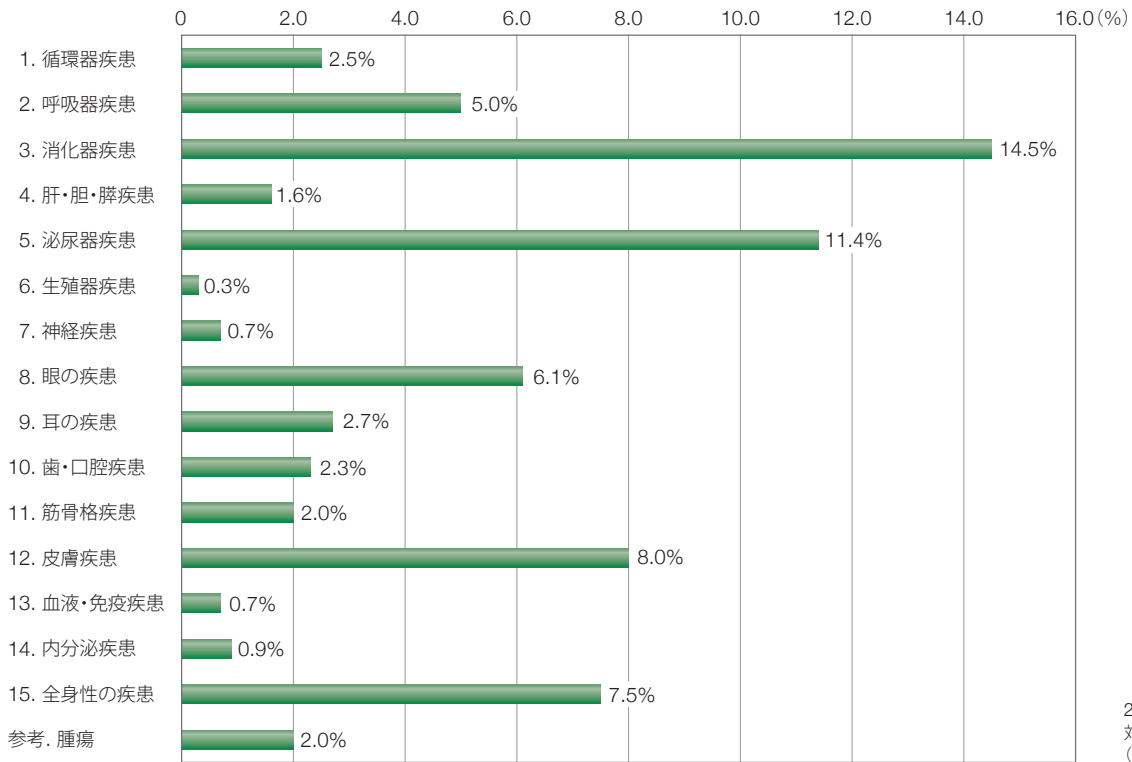


- 2. 呼吸器疾患
- 6. 生殖器疾患
- - - 7. 神経疾患
- ..... 13. 血液・免疫疾患
- 14. 内分泌疾患

2-1-3～2-1-5  
対象：741,919頭  
(犬、0～12歳)

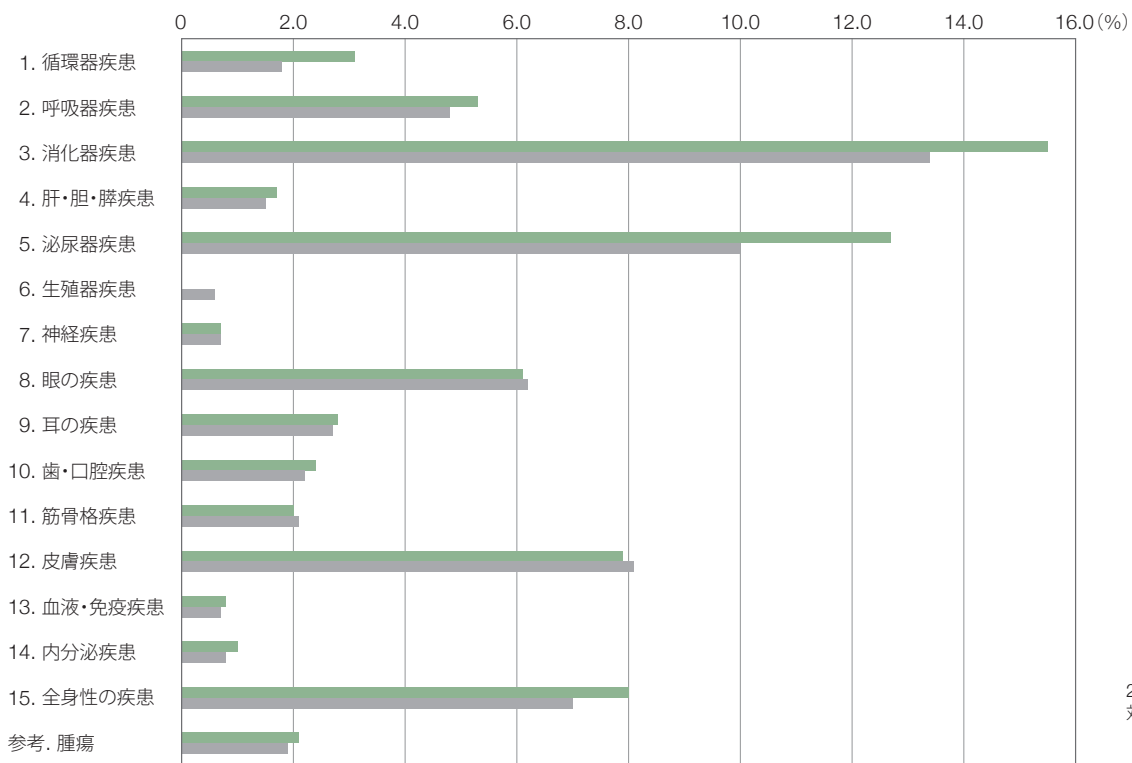
## 2. 猫

2-1-6 猫の疾患（大分類単位）の請求割合



2-1-6  
対象：258,436頭  
(猫、0～12歳)

2-1-7 猫の請求割合の男女比較

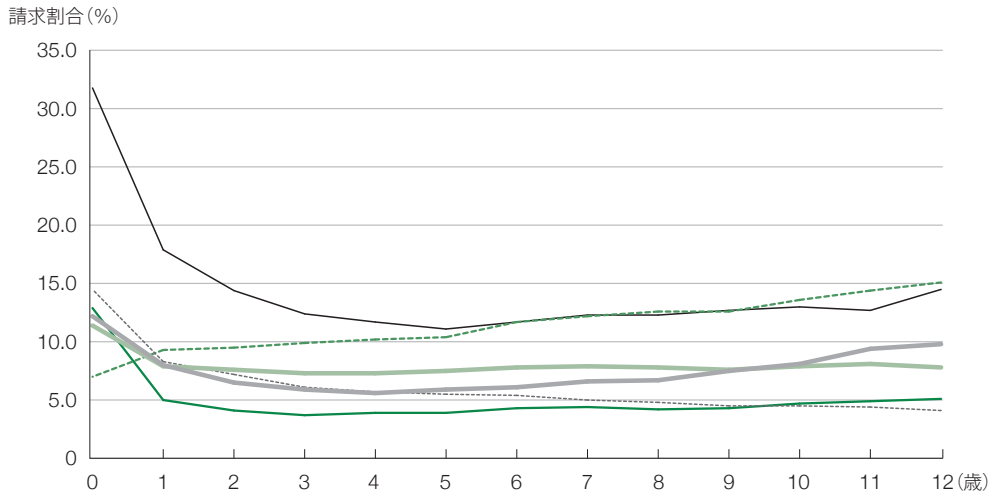


2-1-7  
対象：男子、137,462頭  
女子、120,974頭  
(猫、0～12歳)



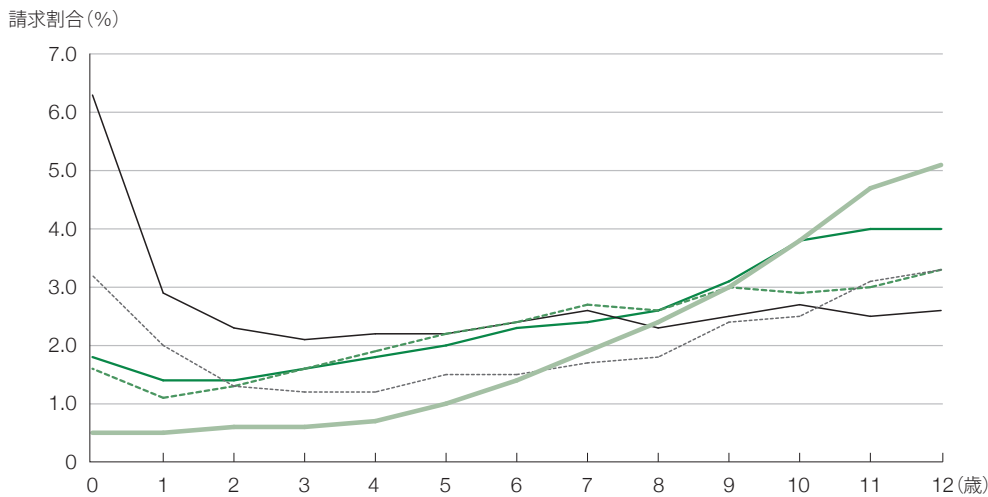
第2部 第1章 疾患（大分類単位）別の統計

2-1-8 猫の請求割合の年齢推移①



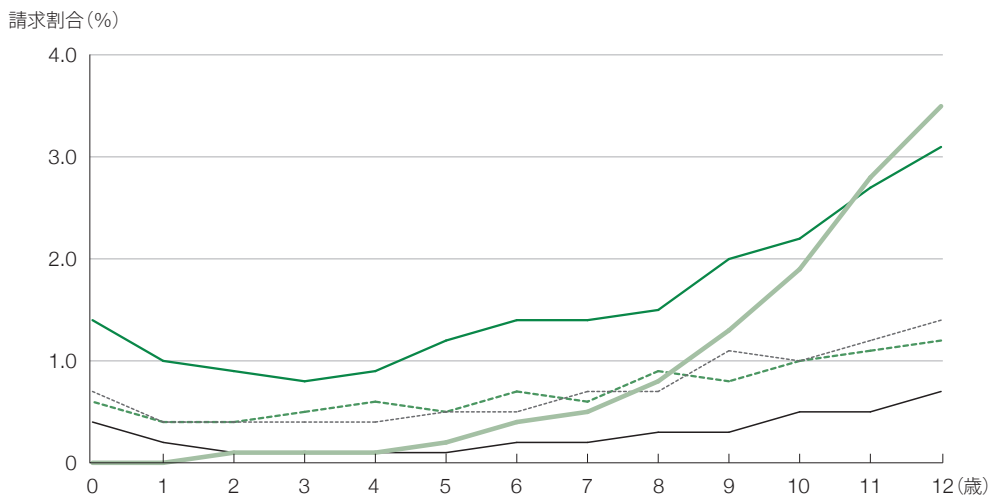
- 2. 呼吸器疾患
- 3. 消化器疾患
- - - 5. 泌尿器疾患
- ⋯ 8. 眼の疾患
- 12. 皮膚疾患
- 15. 全身性の疾患

2-1-9 猫の請求割合の年齢推移②



- 1. 循環器疾患
- 9. 耳の疾患
- - - 10. 歯・口腔疾患
- ⋯ 11. 筋骨格疾患
- 参考: 腫瘍

2-1-10 猫の請求割合の年齢推移③

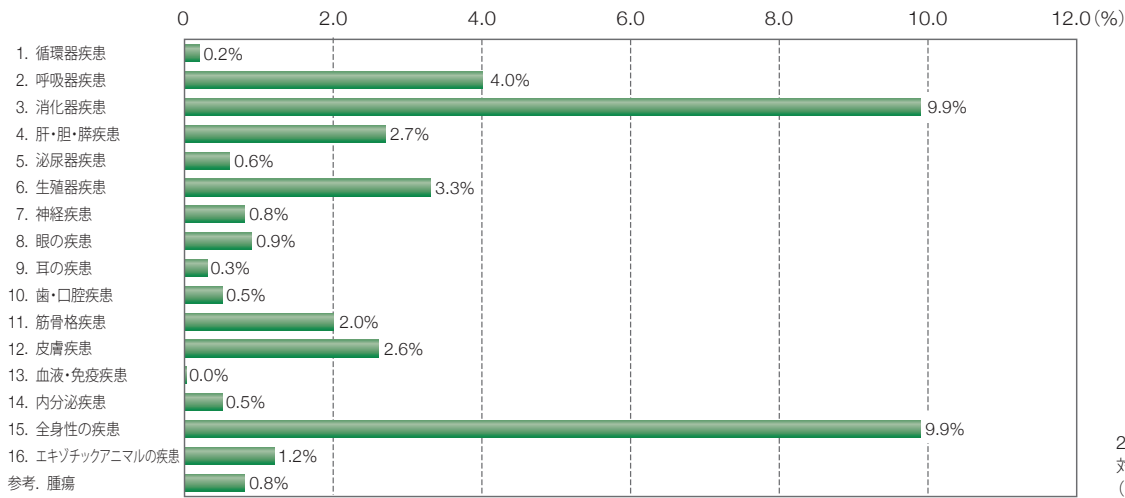


- 4. 肝・胆・膵疾患
- 6. 生殖器疾患
- - - 7. 神経疾患
- ⋯ 13. 血液・免疫疾患
- 14. 内分泌疾患

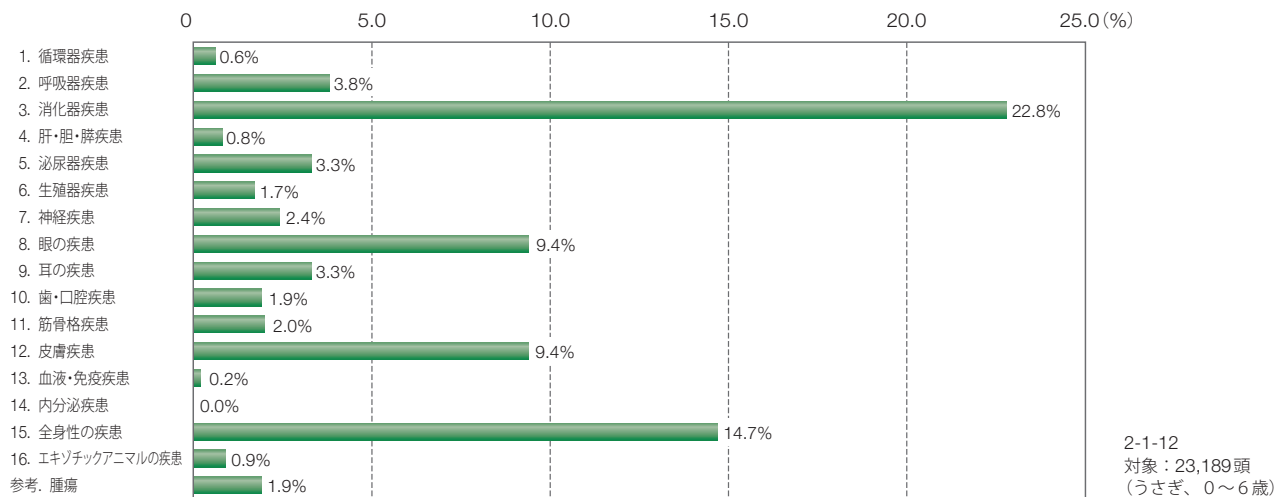
2-1-8～2-1-10  
対象：258,436頭  
(猫、0～12歳)

### 3. 鳥、うさぎ、フェレット

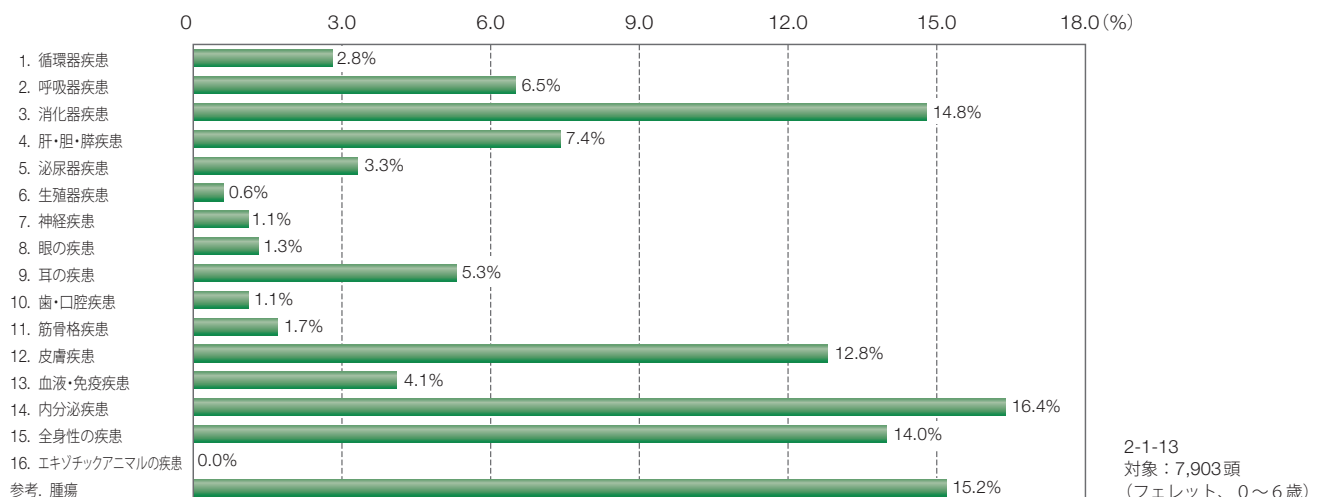
2-1-11 鳥の疾患（大分類単位）の請求割合



2-1-12 うさぎの疾患（大分類単位）の請求割合



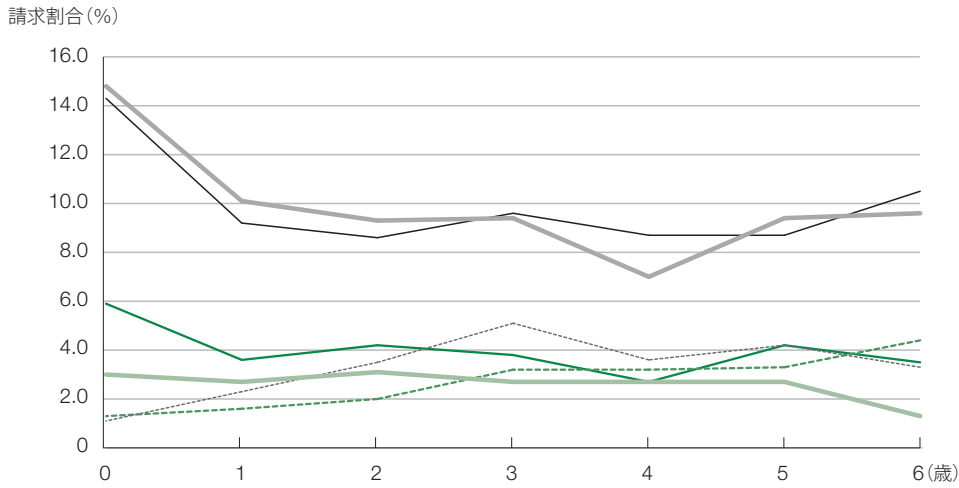
2-1-13 フェレットの疾患（大分類単位）の請求割合



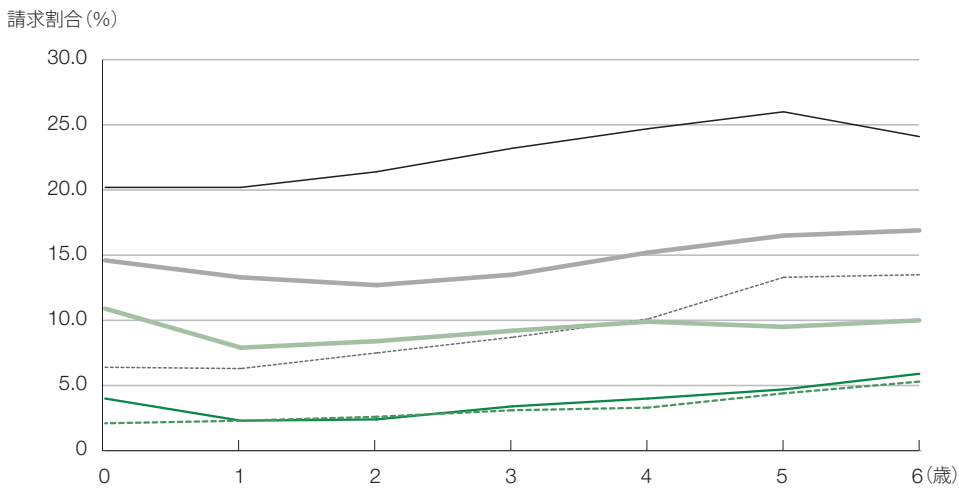


第2部 第1章 疾患（大分類単位）別の統計

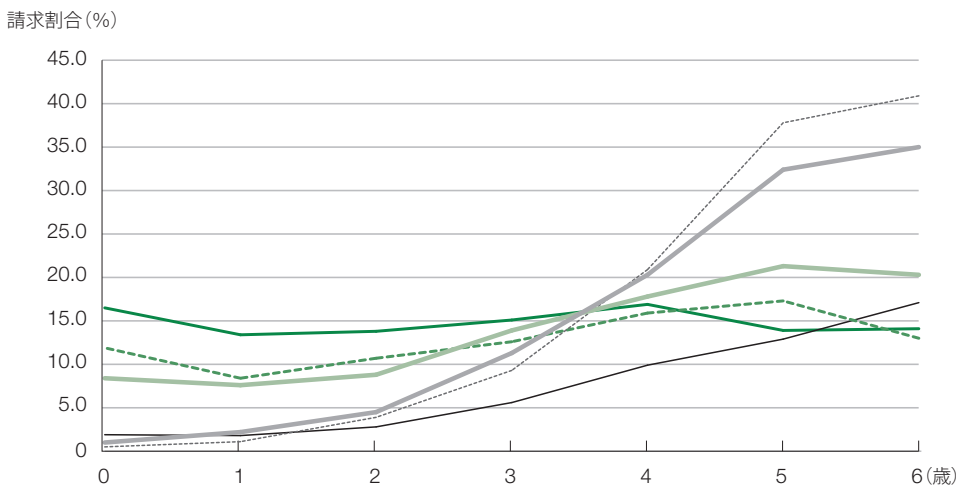
2-1-14 鳥の請求割合の年齢推移



2-1-15 うさぎの請求割合の年齢推移

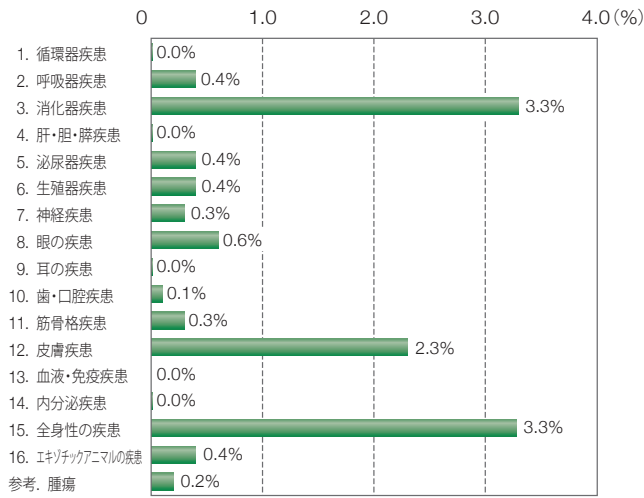


2-1-16 フェレットの請求割合の年齢推移



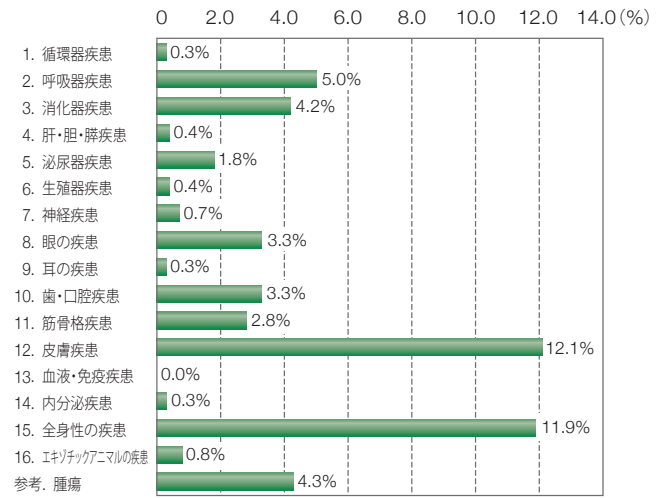
## 4. モモンガ、リス、ハムスター、ネズミ、モルモット

2-1-17 モモンガの疾患（大分類単位）の請求割合



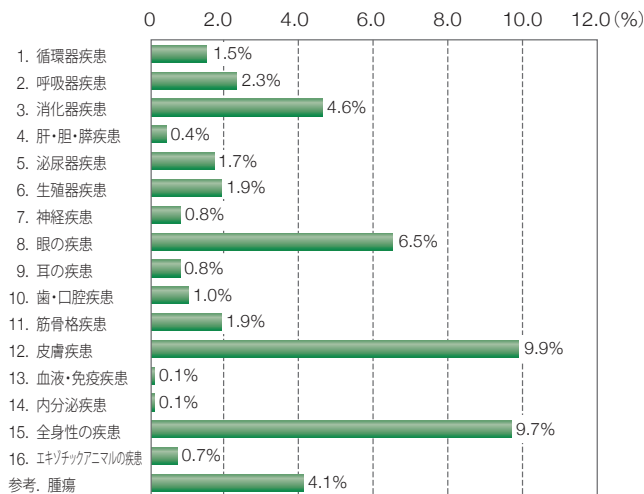
2-1-17 / 対象：4,651頭（モモンガ、全年齢）

2-1-18 リスの疾患（大分類単位）の請求割合



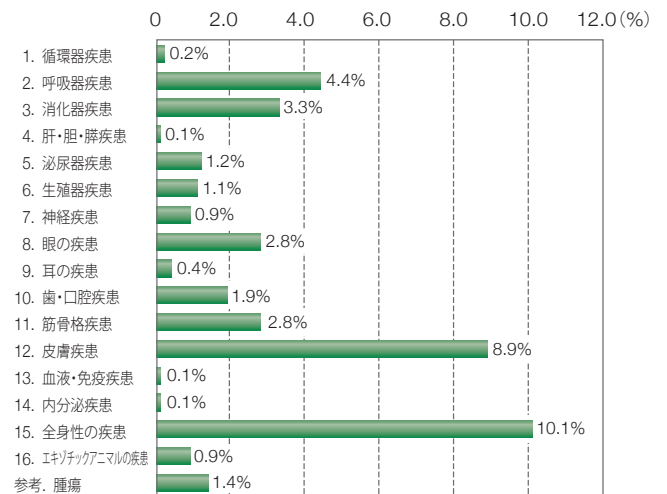
2-1-18 / 対象：1,501頭（リス、全年齢）

2-1-19 ハムスターの疾患（大分類単位）の請求割合



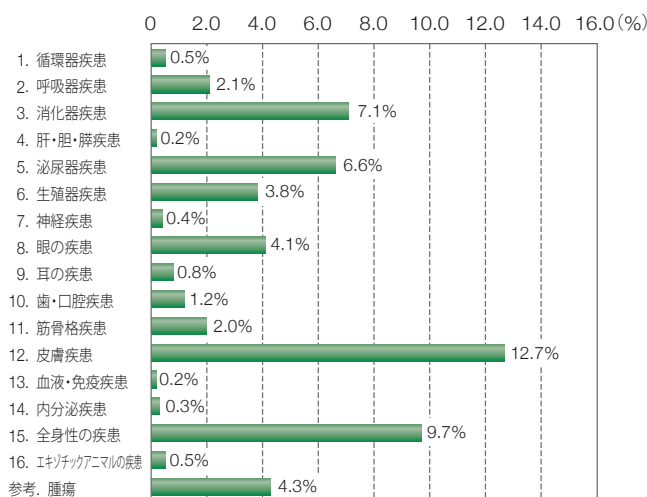
2-1-19 / 対象：14,986頭（ハムスター、全年齢）

2-1-20 ネズミの疾患（大分類単位）の請求割合



2-1-20 / 対象：4,222頭（ネズミ、全年齢）

2-1-21 モルモットの疾患（大分類単位）の請求割合



2-1-21 / 対象：4,955頭（モルモット、全年齢）

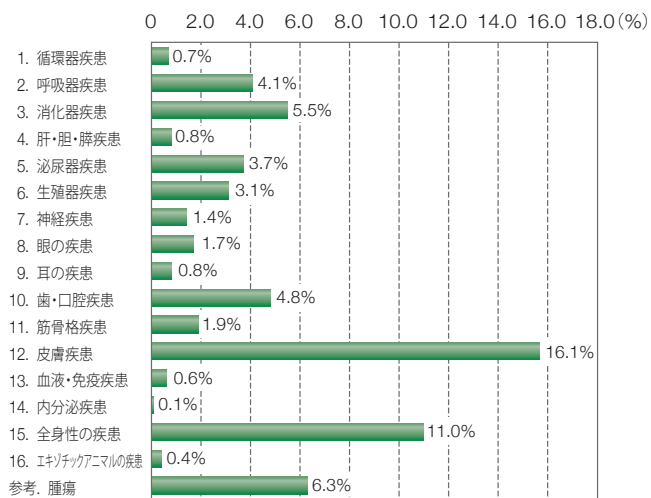




第2部 第1章 疾患（大分類単位）別の統計

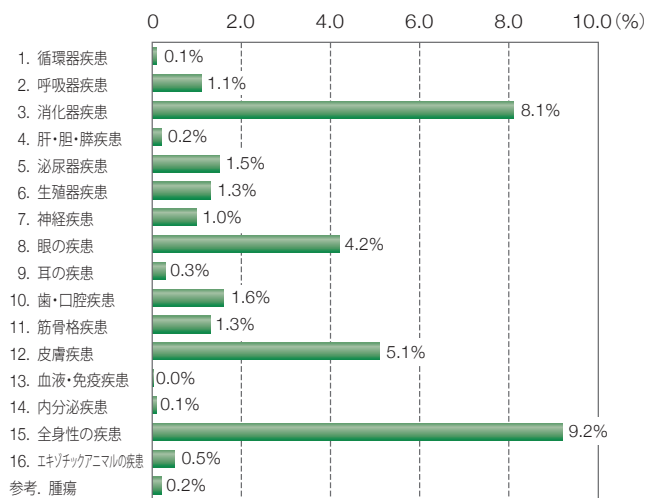
5. ハリネズミ、チンチラ、トカゲ、カメ、ヘビ

2-1-22 ハリネズミの疾患（大分類単位）の請求割合



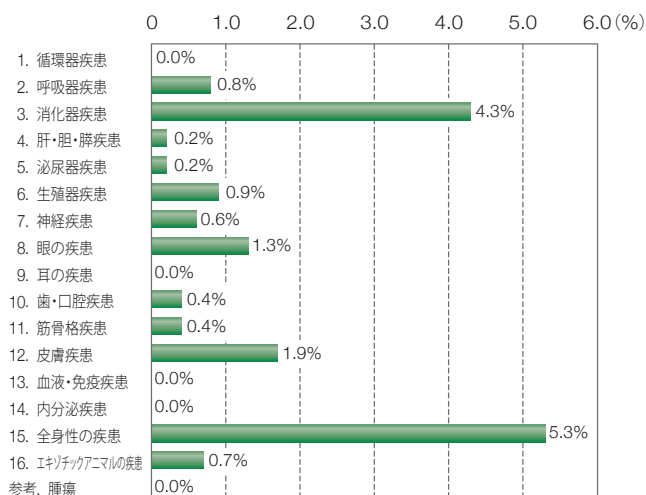
2-1-22 / 対象: 3,405頭 (ハリネズミ、全年齢)

2-1-23 チンチラの疾患（大分類単位）の請求割合



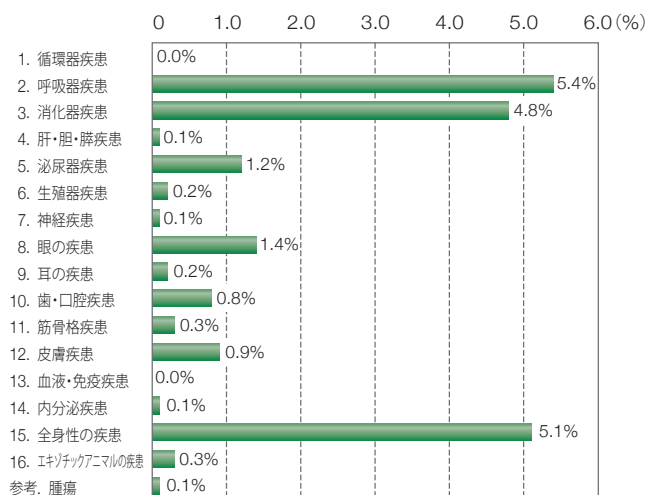
2-1-23 / 対象: 7,237頭 (チンチラ、全年齢)

2-1-24 トカゲの疾患（大分類単位）の請求割合



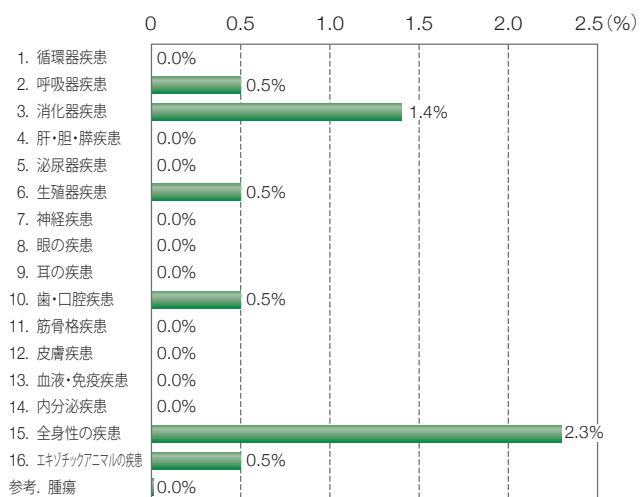
2-1-24 / 対象: 2,358頭 (トカゲ、全年齢)

2-1-25 カメの疾患（大分類単位）の請求割合



2-1-25 / 対象: 1,324頭 (カメ、全年齢)

2-1-26 ヘビの疾患（大分類単位）の請求割合



2-1-26 / 対象: 221頭 (ヘビ、全年齢)

